

香港株式市場フラッシュ

足元で明暗を分ける「両雄」～アリババとテンセント

リサーチ部 笹木和弘

Tel: 03-3666-6980

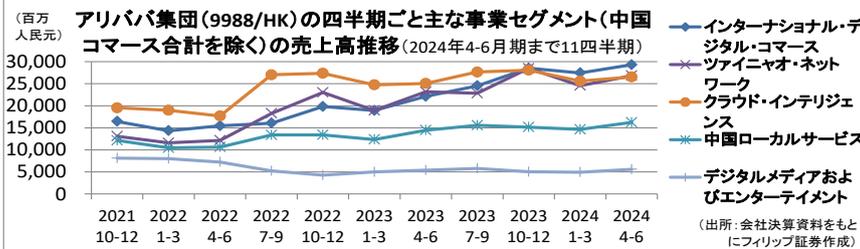
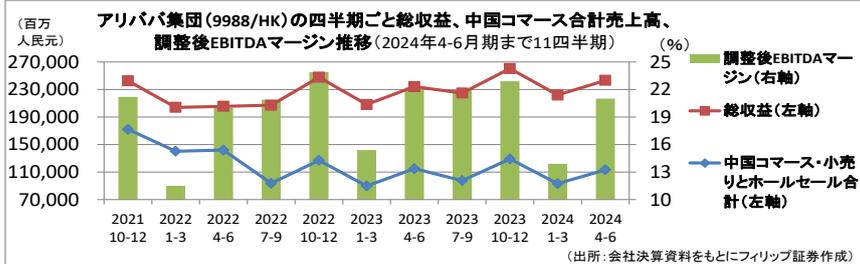
E-mail: kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp

フィリップ証券株式会社

2024年8月21日号(8月21日作成)

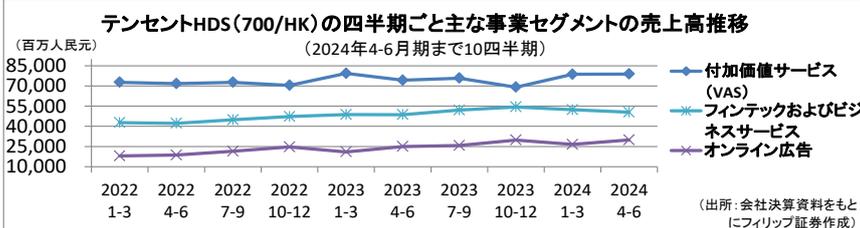
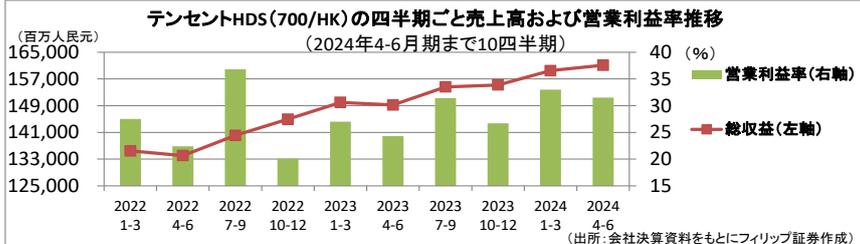
「アリババ集団は海外通販事業の好転待ちが」

中国ネット通販最大手の**アリババ集団(9988 香港)**が15日に2024年4-6月期決算を発表。売上高が前年同期比4%増(2432億元)、営業利益が同15%減(359億元)、非GAAPの調整後純利益が同9%減(406億元)だった。事業別では主力の中国コマース事業が1%減収と苦戦しているものの、生成AI(人工知能)普及を追い風にクラウド事業が6%増収、海外通販事業(国際・デジタル・コマース)が32%増収、物流事業(ツァイニャオ・ネットワーク)が16%増収と伸びた。他方、調整後EBITDA(利払い・税引き・償却前利益)はクラウド事業が2.6倍の23億元となった一方で、物流事業は30%減益、海外通販事業は▲4.20億元から▲37.06億元へ赤字幅拡大。「アリエクスプレス」やアセアンの傘下「ラザダ」などの海外通販の動向が株価持ち直しへの鍵を握りそうだ。



「テンセントはゲーム事業が好調」

他方、ネットサービス大手の**テンセント・ホールディングス(700 香港)**が14日に発表した2024年4-6月期は、売上高が前年同期比8%増(1611億元)、営業利益が40%増(507億元)、純利益が82%増(476億元)と堅調な内容だった。売上比率で約3割を占めるゲーム事業は、スマホ用のモバイルゲームの新作が大ヒットを記録。中国政府が未成年のゲーム中毒を問題視していた状況は変わり、ゲーム会社が相次いで新作を市場に投入できる状況になったことが追い風となっている。ゲームに加えて音楽・動画のサブスクリプションで構成される「付加価値サービス(VAS)」事業の利益率も上昇傾向。業績見通しはアリババと比べて相対的に良好と言える。



ハンセン指数またはハンセンテック指数構成銘柄(全96銘柄)における終値の昨年末来騰落率

前回基準日: 20240806 基準日: 20240820

順位	2023年末来騰落率・上位10銘柄 (%)	前回順位
1	中国宏橋集団[チャイナ・ホンチャオ・グループ]	69.0 2
2	中国海洋石油 [CNOOC]	59.8 1
3	華潤電力控股[チャイナ・リソース・パワー・ホールディングス]	45.9 3
4	長江基建集団 [チョンコン・インフラストラクチャー・HDS]	37.7 8
5	中国聯通 [チャイナ・ユニコム]	36.9 4
6	中国石油天然気 [ペトロチャイナ]	35.1 7
7	中国建設銀行 [チャイナ・コンストラクション・バンク]	32.4 9
8	中国工商銀行	32.3 17
9	中国神華能源 [チャイナ・シェンファ・エナジー]	32.2 10
10	Meituan (美国)	32.0 6

順位	2023年末来騰落率・下位10銘柄 (%)	前回順位
96	East Buy Holding Ltd	-60.8 94
95	薬明生物技術[ウーシー・バイオリジクス・ケイマン]	-60.5 96
94	蔚来汽車[ニオ]	-56.9 95
93	小鹏汽車	-51.4 92
92	金蝶国際軟件集団[キングディー・ソフトウェア]	-49.4 91
91	中升控股 [フォンサン・グループ・ホールディングス]	-44.0 84
90	理想汽車	-43.6 93
89	恒隆地産 [ハンロン・プロパティーズ]	-41.3 90
88	JD Health International Inc (京東健康)	-39.2 89
87	Ping An Healthcare and Techn (平安好医生)	-38.9 83

【2024年8月: 中国主要経済指標】

- 8月7日(水)
 - ・7月外貨準備高: 前回3.22兆USD、結果3.25兆USD
 - ・7月貿易収支: 前回+990億USD、結果+846億USD
 - ・7月輸出<前年同月比>: 前回+8.6%、結果+7.0%
 - ・7月輸入<前年同月比>: 前回▲2.3%、結果+7.2%
- 8月9日(金)
 - ・7月消費者物価指数(CPI)<前年同月比>: 前回+0.2%、結果+0.5%
 - ・7月生産者物価指数(PPI)<前年同月比>: 前回▲0.8%、結果▲0.8%
- 8月13日(火)
 - ・7月資金調達総額: 前回18.10兆元、結果18.87兆元
 - ・7月新規人民元建て融資: 前回13.27兆元、結果13.53兆元
 - ・7月マネーサプライM2<前年同月比>: 前回+6.2%、結果+6.3%
- 8月15日(木)
 - ・7月小売売上高<前年同月比>: 前回+2.0%、結果+2.7%
 - ・7月鉄工業生産<前年同月比>: 前回+5.3%、結果+5.1%
 - ・1-7月不動産投資<前年同月比>: 前回▲10.1%、結果▲10.1%
 - ・1-7月固定資産投資<前年同月比>: 前回+3.9%、結果+3.6%
 - ・7月新築住宅価格<前月比>: 前回▲0.67%、結果▲0.65%
 - ・7月住宅販売面積<前年同月比>: 前回▲26.9%、結果▲25.9%
 - ・7月調査失業率<前年同月比>: 前回5.0%、結果5.2%
- 8月20日(火)
 - ・1年ローン・プライムレート: 前回3.35%、結果3.35%
 - ・5年ローン・プライムレート: 前回3.85%、結果3.85%
- 8月27日(火)
 - ・1-7月工業利益<前年同月比>: 前回+3.5%
- 8月31日(土)
 - ・8月製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回49.4
 - ・8月非製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回50.2
- 9月2日(月)
 - ・8月(財新)製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回49.8
- 8月4日(水)
 - ・8月(財新)サービス部門PMI: 前回52.1

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

- ・本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。